

事業の  
背景・目的

地域課題

- ✓ 慢性的なマンパワー不足から、地域のブランディングが疲弊
- ✓ 地域の中には存続が危ぶまれる集落もあり、地域浮揚策の推進・実施が課題

関係人口に期待する役割

- ✓ 冠嶽芸術文化村構想の実施主体「創発コミュニティ」の形成のための一員として、広く関係人口のスキルを活用

目標（地域の理想の姿）

- ✓ 関係人口と地域住民からなる構想の実施主体「えんたく」を形成し、「えんたく」が自走できるよう収益事業の可能性を検討

取組の  
概要

中山間地域である生福・冠岳地区において、地元住民と関係人口が協働して地域づくりに取り組む創発コミュニティ組織「えんたく」を設立。同組織が主体となって、地域映画づくりのためのトークセッション、もみじ狩り散策ツアー、物産展への出展、フリーペーパー編集等を実施。

いちき串木野市

地域側の受入主体

【創発コミュニティ「えんたく」】

- いちき串木野市市役所職員
- BAGN（外部アドバイザー）
- メンター（元地域おこし協力隊）
- 地域住民



地域の参加者

- 地域住民

募集・アプローチ

- SNS、メール、HPを通じた呼びかけ、会報誌の発行、イベント等による幅広い呼びかけ

つながり・関わりの仕組み（機会・場）

トークセッション



映像作家を招き、映像を交えながら8ミリフィルムの価値と、市民参加の価値についてのトークセッション

物産展出店



地域物産展イベントに「えんたく」として出店 薬膳弁当の企画・販売、「えんたく」の活動紹介パネル展等を実施

知見・ノウハウ提供、地域住民への刺激・気づきの提供

主なターゲット

- 知識やスキルを地域振興に活かしたいと考える人
- 市外居住者や近隣地域の人々

実際の参加者

- トークセッション（地域映画）：35名
- 冠岳もみじ狩り散策ツアー：5名  
<事業の企画、実施を通じ提案地域と直接かかわった人>
- 薬膳料理家、デザイナー、イラストレーター、フォトグラファー、インスタグラマー、ミュージシャンなど 78名

主な成果

冠嶽芸術文化村構想の事業推進体として、**地域内外の人材が参画する13名からなる創発コミュニティ「えんたく」を設立**。ツアーや物産展出店によって一定の収入を獲得し、「えんたく」の今後の活動継続に必要な収入源の確保に一定の道筋をつけた。